

第9回いわみフレッシュフェスティバル

～人権・健康・文化の祭典～

公民館 だより

Kouminkan
dayori

No. 389



プログラムに70人が出演し、龍神太鼓、フラダンス、手話歌、踊り、カラオケなど日頃の練習の成果を楽しそうに発表され、観客の方から盛大な声援がありました。3日の午前中は、日中友好の集いが開催され中国の民俗芸術であります雑伎が披露されました。両手に持った数本の棒で、軽やかに皿を回しながら様々な技を披露する皿回しや、高い一輪車(2m)に乗って片足は一輪車をこぎ続け、もう一方の足で頭の上に腕を蹴り上げ積み重ねていく技や椅子をうまく積み上げ大講堂の天井に届くところまで逆立ちなどの技は、見ている人も悲鳴に近い歓声が上がります。大きな拍手で会場内が割れんばかりの拍手でした。午後からは、読書フォーラム2009 in いわみが開催され親子読書実践発表や藤田浩子先生による「子どもたちにはなしを」を演題で講演をして頂きました。

美の特産品は完売しました。また、今年内は町内の建設業者から重機の展示があり子どもたちが運転席に乗り大喜びをしとても楽しそうでした。



11月1日～3日まで中央公民館を中心に第9回いわみフレッシュフェスティバル「人権・健康・文化の祭典」と岩美町産業祭を同時開催しました。

期間中は、あいにくの雨模様で心配しましたが、大勢の方が来場されました。

中央公民館では、園児、児童の作品や町民の方々の力作を展示しました。

大講堂では、1日に文化講演会 & 女と男のつどいが開催され落語家の林家三平さんによる「もつとイキキ女と男」落語家の世界から見つけた男女の個性」と題して講演を頂きました。性別や年齢による体力的・精神的な差異から、それぞれに適した役割分担があり、男女平等と言ってもそこは女性より男性が適していること、逆に男性より女性が適していること、高齢者より若い人が適していること、若い人より高齢者が適していることなどがそれぞれにあるのではないかというお話でした。



テント村では、1日の午前中の開催で後は風雨のため実施することが出来ませんでした。それでも、長谷ことびきそば、岩常のうどん、いわみおこは等の岩

美の特産品は完売しました。また、今年内は町内の建設業者から重機の展示があり子どもたちが運転席に乗り大喜びをしとても楽しそうでした。



3日は天候が思わしくなかったため中央公民館のロビーも使いましたが、各出展者自慢の商品がほぼ完売する好評振りでした。

町民体育館では、1日は岩美町産業祭が開催され商工会スタンプラリー、町内の企業をパネル等で紹介展示などがあり、大勢の方が見学されていました。また、今年はフワフワドームがあり子どもたちが楽しんでいました。3日は健康づくりエリアで、いきいきはつらつ保健師さんコーナー・なるほど役立つ栄養士さんコーナー、ダメ絶対薬物乱用防止コーナーが、リサイクルコーナーではトイレトペーパー交換、ブックリサイクル、ひねり箱作成など、また、岩美病院歯科スタッフによる子ども手作り作成等の催しが開催され多くの町民の方が参加されました。

岩美川柳会

予想だが卒寿ぐらいいはけるかも
北村 稔

病床の労わりせめて手を摩る
山田 たぬ

ありがとごめんネ両手合わず
岡本 幸枝

奥の手を出さずに済んで物足りぬ
田口 清帆

この手には百の悪事が刻まれて
小西 幸安

リモコンも電話も手元独り住む
山下 節子

スペアーになって二人は強くなる
飯野 菖子

風向きが変わり女の気も変わり
石谷美恵子

風待ちの港の女性は働き手
山下 蟹郎

千の手に千の願いをするひと科
石谷 忠良

松かさ短歌会

ワイシャツを浸す漂白に日焼け
せる我が手も深くしづめておりぬ

寝ながらヘルパーさんの名前
呼び御免なさいと謝っている

黄金なす田んぼの中を走り行き
コスモスロード近づいてくる

山根 富枝

安木 和代

横山 芳子